



クローズアップ
CLOSE UP

食と自転車で赤城堪能

11月4日にカネコ種苗ぐんまフラワーパークで赤城山スローシティフェスタを開催。地元の農産物やオルビエート産ワインなどが販売されました。また、食を楽しみつつ赤城南麓を自転車で走る赤城山グルメリイドも同時開催。スローシティを体感できる1日となりました。



調査結果で見た未来

10月31日、シティプロモーションをテーマにタウンミーティングを開催。本市のイメージ調査をした伊加田直孝さんが調査結果を解説しました。来場者のアンケート内容を基に、市長と前橋の魅力語る場面も。課題や今後の方向性を会場全体で共有しました。



朔太郎賞は『接吻』に

10月27日、前橋文学館で萩原朔太郎賞贈呈式を開催。受賞者の中本道代さんは「幼い頃から朔太郎の詩に励まされてきました。受賞はこの上ない喜びです」とあいさつ。詩のレンズと題した講演では、受賞作『接吻』に込めた思いや死生観などを語りました。

いきいき
まえばし人

ボウリングの全国大会で優勝
渡辺 莉央さん 17歳
前橋育英高2年

自信と知識を一投に込めて

「最後の一投はドキドキでした。今年は優勝したいと思って臨んだので、目標を達成できてうれしいです」
今年の全日本高校ボウリング選手権大会と、初出場の国民体育大会で優勝を飾った。祖母がボウリングをやっていた影響で小さい頃からボウリングに親しみ、小5から競技として始めた。
「初めて出場した大会でいい結果が出なくて、もっと上手になりたいと思い競技でボウリングを始めました」
渡辺さんは、女子選手では少ない回転を多くかける投げ方を武器としている。
「中学に入って投げ方を変えて、最近になって大会で結果が残せるようになりました。自分のプレーをみんなに見てもらえるのが楽しいです」
ボウリングは多くの知識を身に付ける必要があると言う。
「レーンの素材や塗られたオイルによってボールの転がり方が変わるとか、奥が深いんです。覚えることが多くて大変ですが、そこも楽しさだと感じています」
「もっと強くなりたい。ナショナルチームに入りたいことを目標にこれからも頑張ります」
ボウリングにひたむきな渡辺さん。大会で積み上げた自信をボールに込め、未来を切り開いていく。



うまし! たのし!
前橋もぐもぐ隊
Vol.4
りんご

園農政課
☎ 027-898-5841

食べておいしい、知って楽しい旬な前橋産をもぐもぐ隊員が紹介するこのコーナー。今回は、「りんご」をもぐもぐするため、嶺町の磯田明子さんのりんご園にお邪魔しました。6,000㎡に広がる磯田さんのりんご園では、つがる、あかぎ、陽光、ふじをメインに約13種類のりんごを栽培。9月から12月まで収穫が可能で、産直味菜や市内のJAファーマーズで購入できます。



磯田さんと今回のもぐもぐ隊員、農政課の宮崎。



日光の当たり方を見て、りんごの周りの余分な葉を摘み取ります。
隊員も収穫を体験。大きいのが採れた! 品種は左が陽光、右がぐんま名月。
おいしいりんごの見分け方も教えてくれた磯田さん。品種によって味が違うので、好みの品種を見つけるのも楽しみです。